2022年度　環境経営レポート

2022年4月　～　2023年3月

mottainai

有限会社 ヨシモト・トレーディングカンパニー

作成：2023年6月30日

エコアクション21
認証番号0010474

YTC
YOSHIMOTO TRADING COMPANY

目　次

1.　1P　組織の概要

2.　1～4P　対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

3.　5P　環境経営方針

4.　6P　環境経営目標

5.　7P　環境経営計画

6.　8P　環境管理組織体制

7.　9～12P　環境目標の実績、環境活動計画の取組結果とその評価、
次年度の環境経営目標及び環境経営計画

8.　13P　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

9.　14P　代表者による全体評価と見直し・指示

発　行　日：2023年6月30日

発行責任者：環境管理責任者　取締役社長

1.組織の概要

（1）名称及び代表者名
有限会社 ヨシモト･トレーディングカンパニー
代表取締役　松本 壽一
取締役社長　竹内 靖司

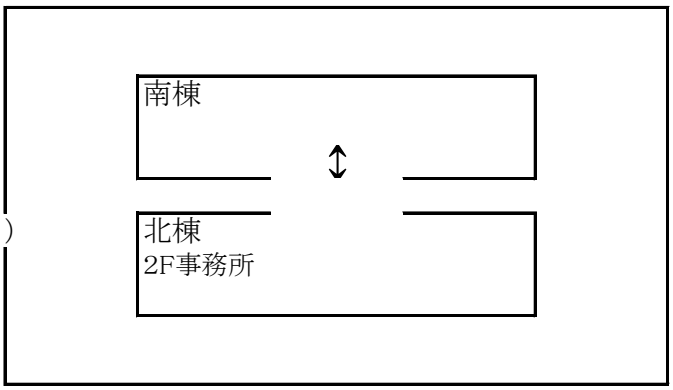
（2）所在地
本　　社　　香川県高松市塩江町安原下第3号584番地1

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者　　取締役社長
事務担当者　　事務
連絡先　　TEL:087-890-2238

（4）事業内容
一般廃棄物収集運搬業
一般廃棄物処分業
産業廃棄物収集運搬業（香川県）
産業廃棄物収集運搬業（高松市）
産業廃棄物収集運搬業（徳島県）
産業廃棄物処分業（高松市）
特別管理産業廃棄物収集運搬業（香川県）
特別管理産業廃棄物収集運搬業（高松市）

（5）事業の規模

設立年月日			1996年9月26日	
資本金			1,000	万円
売上高	（第27期:2022.9.1～2023.8.31）		21,454	万円
従業員			14	名
延べ面積	北棟	収集運搬	725	m2
	南棟	処分	725	m2
	事務所		152	m2



（6）事業年度　　9月～8月

2.対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

全組織 ・全活動

許可の内容

一般廃棄物収集運搬業　(許可番号:第28号・許可年月日:R4.5.23・有効期限:R6.5.22)
一般廃棄物の種類　事業系一般廃棄物、家庭系一般廃棄物
積替保管施設の面積・保管上限量　本社　6.48 ㎡　5.8 ㎥

一般廃棄物処分業　(許可番号:第119号・許可年月日:R4.10.18・有効期限:R6.10.17)
処分方法及び一般廃棄物の種類
選別処分　⑥⑧⑨⑫⑬⑭⑯
破砕処分　⑥⑧⑨⑫⑬⑭⑯
圧縮梱包処分　⑥⑧⑨⑫⑬
積替保管施設の面積・保管上限量　本社　76.96 ㎡　89.20 ㎥
廃棄物の種類
（自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない。）

産業廃棄物収集運搬業(香川県)　(許可番号:03703052206・許可年月日:R4.4.8・効期限:R11.4.7)
産業廃棄物の種類　①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑪⑫⑬⑭
（自動車等破砕物を除き、、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。）

産業廃棄物収集運搬業(高松市)　(許可番号:09710052206・許可年月日:R4.5.12・有効期限:R11.4.3)
産業廃棄物の種類　①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑪⑫⑬⑭
（自動車等破砕物を除き、、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。）
積替保管施設の面積・保管上限量　本社　148.8 ㎡　153.6 ㎥

産業廃棄物収集運搬業(徳島県)　(許可番号:3600052206・許可年月日:R5.3.19・有効期限:R10.3.18)
産業廃棄物の種類　①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑪⑫⑬⑭⑮
（特別監理産業廃棄物、自動車等破砕物及び水銀含有ばいじん等を除き、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物及びを含む。）

産業廃棄物処分業(高松市)　(許可番号:09720052206・許可年月日:R5.6.22・有効期限:R11.4.3)
処分方法及び産業廃棄物の種類
選別処分　⑥⑦⑧⑫⑬⑭
破砕処分　⑥⑦⑧⑨⑩⑫⑬⑭
圧縮梱包処分　⑥⑦⑧⑨⑫⑬⑭
積替保管施設の面積・保管上限量　本社　262.4 ㎡　291.2 ㎥

特別管理産業廃棄物収集運搬業(香川県)　(許可番号:03753052206・許可年月日:R4.4.8・有効期限:R11.4.7)
特別管理産業廃棄物の種類　③④⑤⑰⑱

廃棄物の種類
①燃え殻　②汚泥　③廃油　④廃酸　⑤廃アルカリ　⑥廃プラスチック類　⑦紙くず　⑧木くず
⑨繊維くず　⑩ゴムくず　⑪動植物性残渣　⑫金属くず　⑬ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
⑭がれき類　⑮ばいじん　⑯草・水草　⑰感染性産業廃棄物　⑱廃石綿等

収集運搬車両

許可の内容	コンテナ車		ユニック車		パッカー車		ウイング車	軽トラック
	4t	3t	3t	2t	4t	3t	3t	
一般廃棄物収集運搬業	2	2	1	1	1	2	－	2
産業廃棄物収集運搬業(高松市)	2	2	1	1	1	2	1	2
産業廃棄物収集運搬業(香川県)	2	2	1	1	1	2	1	2
特別管理産業廃棄物収集運搬業(香川県)	2	2	1	1	1	2	1	2
特別管理産業廃棄物収集運搬業(徳島県)	2	2	1	1	1	2	1	2

施設の型式及び処理能力

選別処分(トロンメル)	型式:MRT-1500型	355.20	t/日(8時間)
選別処分(磁力選別機)	型式:SPM-80E	42.40	t/日(8時間)
破砕処分(バルツ50型破砕機)	型式:WALD－50A型	42.24	t/日(8時間)
圧縮梱包処分	型式:HL1615-4	4.96	t/日(8時間)

処理実績

(受託した産業廃棄物の量　廃プラスチック・紙くず・木くず　他

収集運搬量　2,220,347 kg　中間処理量　2,223,656 kg

(受託した一般廃棄物の量　可燃物・不燃物及び草木

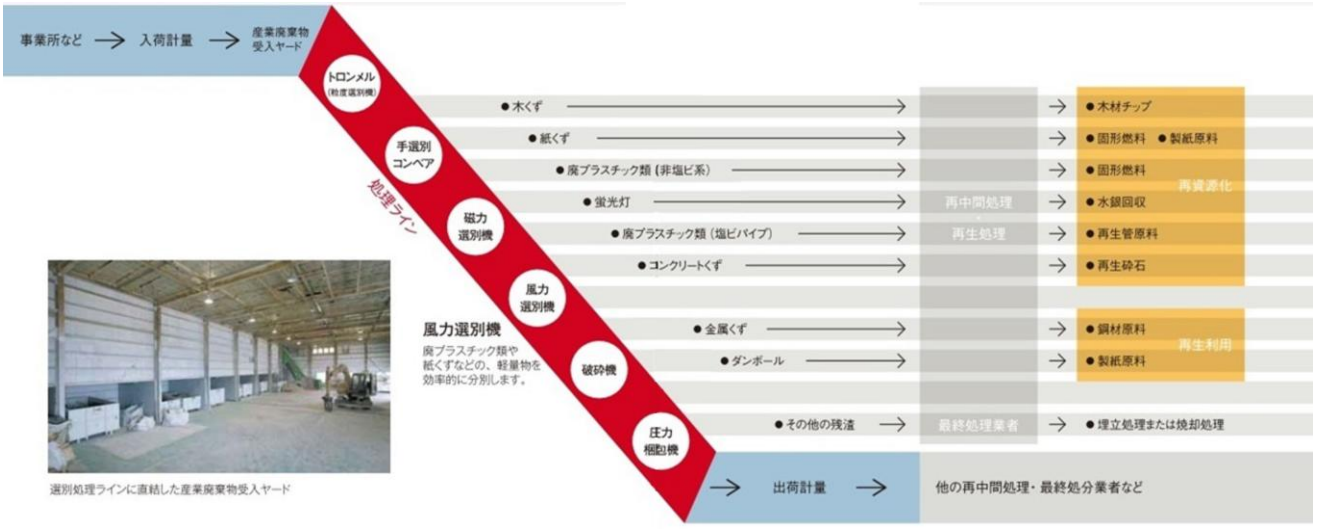
収集運搬量　1,878,330 kg

2022年4月　～　2023年3月

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(kg)
(ⅰ)収集運搬		①燃え殻		0
		②汚泥		5,290
		③廃油		150,328
		④廃酸		0
		⑤廃アルカリ		13,058
		⑥廃プラスチック類		71,514
		⑦紙くず		2,430
		⑧木くず		64,150
		⑨繊維くず		0
		⑩動植物性残さ		0
		⑪金属くず		57,245
		⑫ガラス・コン・陶磁器くず		76,734
		⑬がれき類		425,860
		⑭混合廃棄物		1,349,362
		水銀使用製品産業廃棄物		3,912
		⑯感染性廃棄物		465
収集運搬量合計				2,220,347
(ⅱ)中間処理		①廃プラスチック類	破砕・圧縮梱包	73,984
		②紙くず	破砕・圧縮梱包	2,430
		③木くず	破砕・圧縮梱包	83,050
		④繊維くず	破砕・圧縮梱包	0
		⑤ゴムくず	破砕・圧縮梱包	0
		⑥金属くず	破砕・圧縮梱包	55,327
		⑦ガラス・コン・陶磁器くず	破砕・圧縮梱包	87,234
		⑧がれき類	破砕	479,910
		⑨混合廃棄物	選別	1,441,722
	うち再資源化等	①廃プラスチック類	再資源・燃料化	69,660
		②紙くず	再資源・燃料化	63,630
		③木くず	再資源・燃料化	259,310
		④繊維くず	再資源・燃料化	0
		⑤金属くず	再資源化	417,810
		⑥ガラス・コン・陶磁器くず	再資源化	178,100
		⑦がれき類	再資源化	495,650
		⑧混合廃棄物	再資源・燃料化	14,240
		再資源化等量小計		1,498,400
中間処理合計				2,223,656
(ⅳ)中間処理後の産業廃棄物	最終処分	混合廃棄物	管理型・安定型埋立処分　(委託)	725,256
	再資源化等	①廃プラスチック類	再資源・燃料化	69,660
		②紙くず	再資源・燃料化	63,630
		③木くず	再資源・燃料化	259,310
		④繊維くず	再資源・燃料化	0
		⑤金属くず	再資源化	417,810
		⑥ガラス・コン・陶磁器くず	再資源化	178,100
		⑦がれき類	再資源化	495,650
		⑧混合廃棄物	再資源・燃料化	14,240
		再資源化等量小計		1,498,400
中間処理後処分量合計				2,223,656

産業廃棄物　処理工程図

← 自社処理 → ← 委託 →



排出事業者	中間処理	再中間処理	再利用・最終処分
	①廃プラスチック類	固形燃料化処理	燃料化
		破砕処分	安定型埋立処分
	②紙くず	圧縮処理	再生利用
		固形燃料化処理	燃料化
		焼却処理	管理型埋立処分
	③木くず	破砕処理	木材チップ燃料
		固形燃料化処理	燃料化
		破砕処理	製紙原料
		焼却処理	管理型埋立処分
	④ゴムくず		安定型埋立処分
		焼却処理	管理型埋立処分
	⑤繊維くず	固形燃料化処理	燃料化
		焼却処理	管理型埋立処分
	⑥金属くず	切断処理	再生利用
		圧縮切断処理	
	⑦ガラス、コンクリート 及び 陶磁器くず	石膏ボード	再生利用
		石膏ボード	管理型埋立処分
			安定型埋立処分
	⑧がれき類	コンクリートがら・アスファルトがら 破砕処理	再生利用
			安定型埋立処分

3. 環境経営方針

基本理念

有限会社 ヨシモト・トレーディングカンパニーは、廃棄物の４つのＲ、Reduce（減量）、Reuse（再使用）、Recycle（資源再利用）、Repair（修理）のうち、RecycleとReuseに着目し、廃棄物を限りなくゼロに近づける為に「もったいない」の精神により循環型社会構築に貢献します。

行動指針

１．具体的に次の項目に取り組み継続的な改善活動を展開します。

①資源エネルギーを有効利用し、使用量を抑制します。

②分別・再資源化を徹底します。また、自社発生する廃棄物量を抑制します。

③水を使用する場合は、節水に取り組みます。

④収集運搬・処分を行う際には、十分な環境配慮を行います。

⑤環境保全活動に取り組み、地域貢献活動に積極的に参加します。

２．環境関連法規、条例、規則を遵守し、積極的に環境活動に取り組み、環境に配慮し、社会に貢献します。

環境経営方針は、全ての従業員に周知し、環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日：2014年8月1日

改訂日：2020年4月1日

有限会社 ヨシモト・トレーディングカンパニー

取締役社長　竹内　靖司

4.環境経営目標

【中・長期目的・目標】

☆2019年実績を基準年として、2020年～2022年を設定

目的	単位	目　　標			
		基準年 (2019年度)	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	182,506	180,681	178,856	177,031
・電気使用量削減	kWh	39,649	39,253	38,856	38,460
・ガソリン使用量削減	L	2,026	2,006	1,986	1,965
・軽油使用料削減	L	58,678	58,091	57,504	56,918
廃棄物排出量の削減（一般廃棄物）	kg	168	166	165	163
水総使用量の削減	m3	146	145	143	142
組織本来の取組みの内容 *2	リサイクル率(%)	58.4	59	60	61

＊ 1 環境省2020年1月７日公表四国電力調整後排出係数0.528（kg－CO2／kWh)を使用した。

＊ 2 組織本来の取組として受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上に取り組みます。

＊ 3 化学物質の使用はありません。

＊ 今期は2022年度の目標に取り組みます。

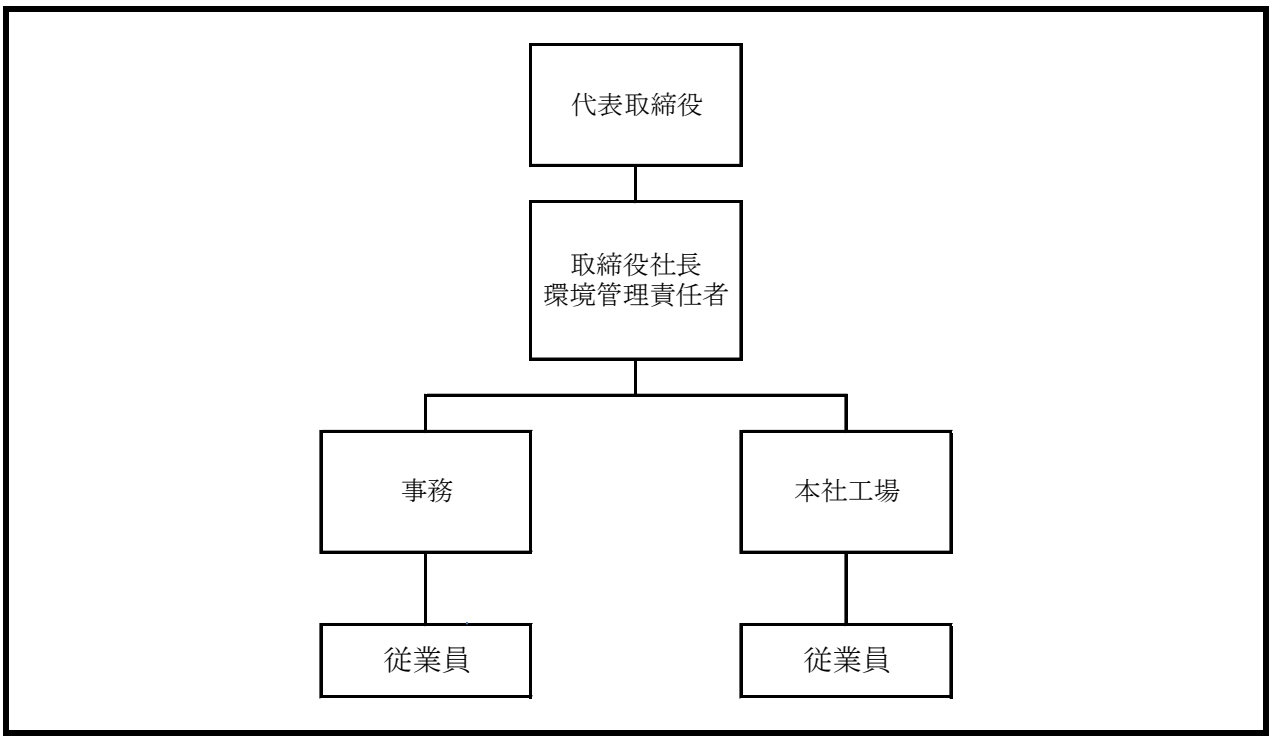
目的	単位	実績	
		2021年	2022年
二酸化炭素の削減 *1	kg-CO2	160,898	165,521
・電気使用量削減	kWh	29,074	30,265
・ガソリン使用量削減	L	2,287	2,092
・軽油使用料削減	L	53,694	55,227
廃棄物排出量の削減（一般廃棄物）	kg	112	106
水総使用量の削減	m3	200	211
組織本来の取組みの内容 *2	リサイクル率(%)	62	67.4

5.環境経営計画

〇取組期間　2022年4月～2023年3月

項目		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す	事務
		②エアコンの定期清掃	
		③クールビズ・ウォームビズの推進	
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底	社長
		②エコドライブの励行	
		③車両の点検整備の実施	
	軽油使用量の削減	①エコドライブの励行	社長
		②走行コースの効率化（他ドライバーとの共有）	
		③講習会の実施	
廃棄物	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏側を使用	事務
		②使用済古紙の再資源化	
		③社内文書の電子化	
	産業廃棄物の削減	①分別の徹底・再資源化	社長
		②レフィルの使用	
水使用量	節水	①洗車時の節水	社長
組織本来の取組	環境に配慮した取組	①中間処理場での分別を徹底。	社長
		②収集場所での分別排出の推奨。	
		③分別容器の準備及び表示等分別排出の補助。	

6.環境管理組織体制



		役割・責任・権限
代表取締役 取締役社長		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・部門の特定された緊急事態への対応マニュアルの承認 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・環境経営活動の取り組み結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	事務	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営目標の実績集計
	本社工場	・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

7－1.環境経営目標の実績

〇取組期間　2022年4月～2023年3月

目的	単位	基準年(2019年)	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素の削減　*1	kg-CO2	182,506	177,031	165,521	107.0%	〇
・電気使用量削減	kWh	39,649	38,460	30,265	127.1%	〇
・ガソリン使用量削減	L	2,026	1,965	2,092	93.9%	×
・軽油使用量削減	L	58,678	56,918	55,227	103.1%	〇
・灯油使用量削減	L	1,325	1,285	872	147.4%	〇
・液化石油ガス(LPG)	m^3	9	9	10	88.9%	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	168	163	106	147.3%	〇
水総使用量の削減	m^3	146	142	211	67.1%	×
組織本来の取組　*2	リサイクル率(%)	58.4	60	67.4	112.3%	〇

〇:達成　△:不十分　×:未達

＊ 1 環境省2020年1月7日公表四国電力調整後排出係数0.528(kg－CO2／kWh)を使用した。

＊ 2 組織本来の取組として受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上に取り組みます。

(リサイクル率の求め方　再資源化等量小計/中間処理合計×100)

＊ 3 達成率の求め方　目標/実績　×100

二酸化炭素の削減	軽油に関して低燃費車への買替で成果が出てきたが、ガソリンの使用量は軽トラックでの作業が増えた。 コロナ対策の為　休憩所の分散対策を行っているが、こまめな節電で電気使用量は抑えられたと思う。
廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	意識して分別をし、紙製品の二次使用、プラスチック製品の繰り返し使用や、リフィルの使用など出来ている。
水総使用量の削減	社員で節水に努めたが、コロナ対策の為車両やコンテナの洗車・洗浄、また、水回りや事務所など清掃にも心がけていたので水の使用量が増えてしまった。
組織本来の取組	事務所、中間処理施設での分別は出来ていた。目標達成した。

7－2.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

6　9　12　3

○取組期間　2022年4月～2023年3月　　3ヶ月を1Qとする

項目		具体的実施項目	実施責任者	1Q	2Q	3Q	4Q	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す	事務	○	○	○	○	○
		②エアコンの定期清掃		○	○	○	○	○
		③クールビズ・ウォームビズの推進		○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底	社長	○	○	○	○	○
		②エコドライブの励行		○	○	○	○	○
		③車両の点検整備の推進		○	○	○	○	○
	軽油使用量の削減	①エコドライブの励行	社長	○	○	○	○	○
		②走行コースの効率化		○	○	○	○	○
		③講習会の実施		○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏側を使用	事務	○	○	○	○	○
		②使用済古紙の再資源化		○	○	○	○	○
		③社内文書の電子化		○	○	○	○	○
	産業廃棄物の削減	①分別の徹底・再資源化	社長	○	○	○	○	○
		②レフィルの使用		○	○	○	○	○
水使用量	節水	①洗車時の節水	社長	○	○	○	○	○
組織本来の取組	受託した産業廃棄物の　リサイクル率の向上	①中間処理場での分別を徹底。	社長	○	○	○	○	○
		②収集場所での分別排出の推奨。		○	○	○	○	○
		③分別容器の準備及び表示等分別排出の補助。		○	○	○	○	○

コメント

項目	評価に対するコメント
電気使用量の削減	クールビズ、ウォームビズ、節電の意識が浸透していると感じられる。
ガソリン使用量の削減	①～③は社員の意識の向上により取り組めた。
軽油使用量の削減	①～③は社員の意識の向上により取り組めた。よりよく効率的に実施できるよう指導する。
一般廃棄物の削減	①～②の徹底は出来ている。③も可能な限り実施している。
産業廃棄物の削減	①～②は徹底して取り組んでいる。
節水	常に意識をもって取組めている。
環境に配慮した取組	①～③は徹底して取り組み、定着している。

７－3.次年度の環境経営目標

【中・長期目的・目標】

☆2022年実績を基準年として、2023年～2025年を設定

目的	単位	目　　標			
		基準年 (2022年度)	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素の削減 ＊1	kg-CO2	165,642	162,329	160,673	159,016
・電気使用量削減	kWh	30,265	29,660	29,357	29,054
・ガソリン使用量削減	L	2,092	2,050	2,029	2,008
・軽油使用料削減	L	55,227	54,122	53,570	53,018
・灯油使用量削減	L	872	855	846	837
・液化石油ガス(LPG)	m^3	10	10	10	10
一般廃棄物排出量の削減	kg	112	110	109	108
水総使用量の削減	m^3	211	207	205	203
組織本来の取組みの内容 ＊2	リサイクル率(%)	61	62	63	64

＊ 1 環境省2023年7月18日公表四国電力調整後排出係数0.532(kg－CO2／kWh)を使用した。

＊ 2 組織本来の取組として受託した産業廃棄物のリサイクル率の向上に取り組みます。

＊ 次年度は2023年度の目標に取り組みます。

7－4.次年度の環境経営計画

〇取組期間　2023年4月～2024年3月31日

項目		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す	事務
		②エアコンの定期清掃	
		③クールビズ・ウォームビズの推進	
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底	社長
		②エコドライブの励行	
		③車両の点検整備の実施	
	軽油使用量の削減	①エコドライブの励行	社長
		②走行コースの効率化（他ドライバーとの共有）	
		③講習会の実施	
廃棄物	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏側を使用	事務
		②使用済古紙の再資源化	
		③社内文書の電子化	
	産業廃棄物の削減	①分別の徹底・再資源化	社長
		②レフィルの使用	
水使用量	節水	①洗車時の節水	社長
組織本来の取組	環境に配慮した取組	①中間処理場での分別を徹底。	社長
		②収集場所での分別排出の推奨。	
		③分別容器の準備及び表示等分別排出の補助。	

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

最新版確認日:2023年4月10日　遵守評価日:2023年4月10日

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法令等の名称		適用される要求事項	法規制等取りまとめ表記載		
			義務	責務	遵守状況
廃棄物	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律	■一般廃棄物処理業許可(高松市)	○		遵守
		■一般廃棄物処理施設の設置許可(高松市)			
		■産業廃棄物処理施設設置者に係る一般廃棄物処理施設設置の特例届出(高松市)			
		■産業廃棄物処理業の許可(高松市)			
		■産業廃棄物処理施設の設置許可(高松市)			
		■産業廃棄物収集運搬業の許可(高松市)			
		■特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可(香川県・高松市)			
		■技術管理者の設置(中間処理施設)			
		■一般廃棄物処理基準の遵守			
		■産業廃棄物処理基準の遵守			
		収集運搬			
		廃棄物の飛散・流出防止			
		悪臭、騒音、振動による生活環境の保全上支障			
		がないように必要な措置			
		収集運搬車両の掲示・書類の備え付け			
		■一般廃棄物委託基準の遵守			
		■マニフェストの管理(5年間保管)			
		収集運搬終了後10日以内送付(電子3日以内)			
		中間処分終了後10日以内送付(電子3日以内)			
		最終処分終了後10日以内送付(電子3日以内)			
	○家電リサイクル法	■TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄		○	遵守
	○グリーン購入法	■事業者の責務		○	遵守
	○使用済自動車の再資源化等に関する法律	■自動車の所有者の責務		○	遵守
		■自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務			
大気	○フロン排出抑制法	■特定製品(業務用エアコン、冷蔵庫等)の整備・廃棄時のフロン回収・破壊	○		遵守
		■引取証明書による回収・破壊の工程の確認			
		■漏洩の簡易点検と、定期点検			
水質	○浄化槽法	■浄化槽設置(変更)の届け出	○		遵守
		■保守点検			
		■定期検査			
悪臭	○悪臭防止法	■規制基準の遵守義務	○		遵守
		■事故時の措置と報告			
		■自治体による測定			
騒	○騒音規制法	■特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	○		遵守
振	○振動規制法	■特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	○		遵守
その他	○労働安全衛生法	■労働安全衛生の推進		○	遵守
		■労働安全衛生推進者の選任			
	○消防法	■消防用設備の設置	○		遵守
		■消防用設備等の点検と報告			

法的要求事項チェックリスト(香川県条例・高松市条例等)

条例等の名称	適用される要求事項	法規制等登録簿記載要否		
		義務	責務	遵守状況
香川県環境基本条例	■事業者の責務		○	遵守
	■廃棄物の適正処理			
香川県生活環境の保全に関する条例	■公害の防止その他の環境への負荷の低減		○	遵守
	■地球温暖化の理解を深め、自動車によるCO2の排出を抑制するためエコ運転を励行			
	■事業者から発生する廃棄物の減少に努め、資源の有効利用を図るとともに電気の使用量を削減し省エネルギー活動を推進			
	■エネルギーの消費量が少ない電気機器等の使用及び電気機器等の効率的な使用			
	■環境マネジメントプログラム展開体制の組織を設置			
	■アイドリングストップの励行			
香川県放置自動車の処理に関する条例	■勤務時間外は敷地内に適切に保管、使用時は所定の駐車場に駐車	○		遵守
香川県産業廃棄物処理等指導要綱(高松市　〃)	■産業廃棄物処理実績報告	○		遵守
	■産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)運搬実績報告			
	■産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処分実績報告			
高松市環境基本条例	■事業者の責務		○	遵守
	■廃棄物の適正処理			
高松市公害防止条例	■事業者の責務		○	遵守
	■公害の防止その他の環境への負荷の低減			

法適用及び遵守のチェックを行いました。なお環境関連法規等の逸脱はありませんでした。

過去3年間　関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

9.代表者による全体評価と見直し・指示

収集運搬業に関しては、本年度も、新規で排出ガス規制・低燃費基準に適合した車両を導入し、温室効果ガス排出量削減を目標に、エコドライブ、走行経路および定期コースの見直し等に積極的に協議検討した。
エコアクション21に取り組み、朝礼や定例会議での事故防止啓発及び危険予知活動の結果、交通事故ゼロと共に苦情ゼロを達成できているのは評価できる。引き続き全員で提案・実践を繰り返しながら取り組み続ける。

処分業に関しては、引き続き、社内での再利用・再資源化の推進に併せて、排出事業場での有価物及びリサイクル品の分別排出に協力できるように取組んだ。全体的なリサイクル率は向上できたと考える。

廃棄物排出量の削減、作業効率向上・エネルギー消費量削減・節水等の活動を継続し、作業手順や工程不良の見直しに全社員で積極的に取組む。

来年度は低燃費型の車両を2台購入予定で、積替保管場所のLED化も含め計画的に省エネ設備や車両の導入を進めている。
近年の値上げ等もあり、化石燃料・電気使用量の削減に取り組むことは、経営にも大きな影響があると考え成果を示し指示・指導を行う。

定期的に社内教育を行い、客先での挨拶の徹底等の対応の教育から顧客に信頼され、紹介に繋がるケースも多くあり、今後も全員でマナー向上の意識を高め推進していきたい。
全社員が必要性を理解し前向きに活動することができていると感じる。

地域清掃活動として、今後もクリーン作戦などには積極的に参加し地域に貢献する。

最後に、今後の目標としてSDGsの趣旨に賛同し、廃棄物処理業を通じて自分たちが出来ることから活動を行うことで、持続可能な世界の実現を目指し、社員と環境意識の共有を図り、日々活動していく中で、経営にも反映できるよう努めて行こうと考えます。
そして、事故ゼロは達成しても終わることのない目標なので、安全講習などを積極的に実施し一人一人の意識を高め、リスクアセスメントを行い、事前に事故の芽を摘むことを心掛けます。
環境への配慮が、我が社の企業価値を向上させ、社員の生活向上にもつながることであると考え、社員一同前向きに取組み会社を発展させてまいります。

環境経営方針及び実施体制の変更に対する必要性の有無

環境経営方針	□ 有	■ 無
環境経営目標	■ 有	□ 無
環境経営計画	□ 有	■ 無
実施体制	□ 有	■ 無

2023年6月30日
取締役社長
竹内　靖司